



RubyKaigi2016

RubyKaigi2016 スポンサーシップ募集要項

2016.04.01

RubyKaigi 2016 Team

<http://rubykaigi.org/2016>



RubyKaigi は、オブジェクト指向スクリプト言語 Ruby の国際カンファレンスです。

世界中から Ruby のコミッターや技術者が Ruby 発祥の地である日本にて一堂に会するイベントです。2006 年からほぼ毎年開催されており、公用語に日本語・英語を揃えた国際カンファレンスとして、世界的な Ruby コミュニティの交流のハブとして機能しています。

記念すべき第 10 回目となります RubyKaigi2016 は、2016 年 9 月 8 日からの 3 日間、Ruby 技術者が集結します。

今回は、日本の歴史と伝統を背負う古都、京都での開催という初めての試みです。前年度の 3 倍規模、最大 2000 人を収容可能な国立京都国際会館にて、日本と世界の Ruby 技術・技術者が出会う貴重な機会となります。まつもと ゆきひろさんをはじめ、多くのスピーカーが登壇予定です。

今年も素晴らしいひとときにご期待ください。

写真協力：<https://m.flickr.com/#/photos/hsbt/>

開催期間

2016 年 9 月 8 日 (木)～10 日 (土)

場所

国立京都国際会館 (京都市左京区宝ヶ池)

基調講演

まつもと ゆきひろ ほか

一般講演

公募します (2016 年 5 月公募開始予定)

主催

RubyKaigi 2016 Team、
一般社団法人 日本 Ruby の会

スポンサーパッケージ

	Ruby	Platinum	Gold	Silver
金額	160万円	80万円	40万円	20万円
募集枠	3社限定	上限あり	上限あり	制限なし
ご招待	4名	4名	2名	—
Webへの紹介文掲載	英文 200 words 程度	英文 100 words 程度	英文 50 words 程度	英文 25 words 程度
Webへのロゴ掲載	特大	大	中	小
その他特典	Keynoteの前に3分間PR	—	—	—

各プラン共通特典

- ・休憩時間中にスクリーンへロゴを表示
- ・イベント参加者へスポンサー様の広告物の配布（A4 程度）
- ・会場の用意しだいではスポンサーブースをご用意できる可能性があります

その他スポンサー紹介

ドリンクアップスポンサー

RubyKaigi の 1 日目、2 日目、3 日目のそれぞれの終了後に、ドリンクアップ（懇親会）のオーガナイズスポンサーを募集します。カンファレンス後のドリンクアップは、講演者と参加者、参加者同士の交流の貴重な場となります。ドリンクアップスポンサーは、Ruby コミュニティの活性化を促し、参加者へアピールする絶好の機会です。



特別スポンサー

過去に以下のような特別スポンサーにもご協力いただきました。
詳しくは RubyKaigi 2016 Team へご相談ください。

✉ sponsorships@rubykaigi.org

- ・ Wi-Fi、インターネット提供スポンサー
- ・ チケット販売管理サービススポンサー
- ・ ランチ提供スポンサー（費用目安：約 50 万円／1 日当たり）
- ・ 請求書サービススポンサー



スポンサーシップ応募方法

応募フォーム

<https://sponsorship.rubykaigi.org/>

連絡先

担当: 鳥井雪 ✉ sponsorships@rubykaigi.org

支払先

三井住友銀行 目白支店 (普)6888135 イツパンシヤダンホウジン ニホンルビーノカイ

請求日

2016年9月10日 (2016年9月中旬発送) 請求日についてはご都合によりご相談も承ります。

支払期限

2016年10月末日

CoC & アンチハラスメントポリシー

RubyKaigi は昨年に引き続き、アンチハラスメントポリシーを策定しました。

私たちは多くのみなさんのご参加を望んでいます。ポリシーは、皆さんが衝突なくつどえる場の維持のためにあります。

禁止事項を増やしてコミュニティを分断したいからではないということをご理解ください。

ポリシーの内容は常識を逸脱しておらず、さほど困難な内容をお願いしているわけではないと思います。下記ご一読いただき、ご理解とご協力を賜りますようお願いします。

■ ポリシー

RubyKaigi はみなさんの参加で成立していますから、いかなる形であれ、いやがらせは禁止です。

ここでいういやがらせは性的なものに限らず、障害、あるいは外見、あるいは人種、あるいは出身、あるいは宗教に関連するものなども含みますし、これらに限りません。

- ・これらに関して攻撃的な発言をすること
- ・脅迫
- ・ストーキング
- ・つきまとい
- ・不適切な接触
- ・性的な画像の掲示などを含む望まれない性的なアトラクション

これらはすべていやがらせです。

いやがらせを止めるように言われた場合は直ちにしがってください。

主催者はいやがらせを行った人を会場から出入禁止にする可能性があります。

いやがらせを受けている、または受けている人を見かけた、あるいはその懸念がある等の場合はただちにスタッフに知らせてください。

スタッフは名札で区別できます。

スタッフは皆さんが警備あるいは警察に通報する必要がある場合や、エスコートが必要な場合、会場内でいやがらせから皆さんを守る必要がある場合などは、必要な措置を講じます。